



(シーズンの到来を告げる西王母)

日本ツバキ協会

平成24年11月25日

広島支部通信 No.5

日本ツバキ協会広島支部 事務局

師走も直前に迫り、改めて月日の経つことの迅速さを痛感します。とはいえ、ツバキ好きにとっては、いよいよ本番の到来です。つぼみもどんどん膨らんできました。早咲きツバキは、すでに咲き始めていることでしょう。事務局でも、西王母、赤西王母、白西王母、晴風、わだつみ、錦秋、昭和侘助などが花開きました。

ところで、ツバキの花が咲き始めると同時にやってくるのが「メジロ」。昨年というより、今年の春は、なぜか極端にメジロが少なく、おかげできれいな花を長く楽しめたのですが、何か異変があったのかと気になりました。この秋には、早速にやってきましたので、安堵すると同時に、また花を傷つけられるのかと心配になります。ま、これも自然の営みと、おらかな気持ちで、ツバキを大いに楽しみましょう。

記

12月定例会(111回ツバキ教室)兼・忘年会

12月定例会のご案内をいたします。

今回も、枝ぶりを整える講習会とします。開花間近の時期ですから剪定は控えて、化粧鉢への植え替えや、針金掛けでの整枝のコツを伝授してもらいましょう。また、苗木の交換や、不要になった鉢の交換会もしたいものです。さらに御自慢の鉢を持ち寄って、皆さんに披露していただけるとありがたいと思っています。

さて、前回の10月定例会で、来年3月の「ツバキ展」を、従来とは全く違う形で、事務局の妙詠寺を会場に開催することに決まりました。この定例会で、基本方針を決定しますので、ぜひご参加ください。欠席者の委任状はとりませんが、この会での決定に賛同いただき、全員参加で盛り上げていただきたいと思います。

日時 平成24年12月23日(日) 午前10時半～午後2時ごろまで。

会場 広島市南区松川町3-1 事務局の妙詠寺にて

テーマ 「鉢植えの整枝」講習会、及び定例会・(兼)忘年会

講師 特に定めておりません。前回同様、初心者は、整枝したい鉢を持参ください。ベテランの方は、見本をお持ちください。またよろしくご指導ください。

会費 3000円(忘年会の会食費)

※今回は、111回目のおめでたい(?)ツバキ教室となります。

※ツバキ展の資金調達の一助にと、玉川事務局長から、作家肉筆絵画の提供をしてくださいますので、忘年会の余興として、ミニ・オークションを開催します。廉価で落札できますので、ぜひご参加ご協力をお願いします。

※同封返信ハガキ、またはメールかFAXで、12月20日までに出席をお知らせください。

私製はがきを使っています。郵送くださる方は、恐れ入りますが、必ず50円切手を貼って投函下さい。

入会希望者の見学大歓迎！ 新会員を募集しています。

支部ニュース

○第3回定例会は「整枝」

10月27日（土）10月定例会を開催しました。
事務局の妙詠寺を会場に、事務局長の玉川さんが中心になって、「整枝」の講習を行いました。大胆な剪定に、初心者は目をばちくり。針金掛けが終わって、形が整い、ようやく安堵といった様子でした。

また、来年の「ツバキ展」の計画など、今後の会の運営についても、意見交換がなされました。

参加者・・・玉川忠義様、部谷吉光様、石井明治様親子、河野元一様、堀内孝様、福本哲心様、黒瀬泰宏様とご友人、島田幸晴・・・10名



その他連絡事項

1. 当支部の主催する「ツバキ展」は、いよいよ来年3月、全く新しい形で開催することになります。他の団体の主催するツバキ展に行かれたこともあろうかと思いますが、それぞれに趣向を凝らして取り組んでおられます。私たちもアイデアを出し合って、他に負けないツバキ展を実施したいものです。皆さんのアイデアを定例会でお寄せ下さい。
2. 当支部のホームページを開設いたしました。まだまだ不完全なものからのスタートとなりましたが、少しずつ充実していきたいと存じます。特に、広島市周辺のツバキの名所を編集中です。情報をお知らせください。（単独でホームページを維持する経費がないことから、事務局が妙詠寺にある間は、お寺のホームページとのセットで開設させていただきます）
<http://myoeiji.jp/> から。また、「日本ツバキ協会広島支部」または、「妙詠寺」から検索してください。
3. 第23回全国椿サミット沖縄大会は、先にご案内の通り、参加申し込み期限が、12月1日に迫っております。当支部からは、武村友和会員が参加される意向です。他に参加ご希望の方がおられましたら、至急事務局にご連絡ください。（今回は、事務局からは参加いたしません）

会員紹介—その3

「ツバキとの出会い」 前・事務局長 ひだによしみつ 部谷吉光



かつて広島県東京事務所に勤務していた時の公舎が武蔵野市にあり、散歩がてら近くの都立神代植物公園へ出かけ、その椿園を訪ねたことが、私とツバキの出会いとなりました。

東京オリンピックの開幕が半年後に迫った昭和39年4月に広島に帰任したため、オリンピックを見られなかったのが今でも残念ですが、そんなある日、当時己斐町にあった「花満」に勤められていた先輩から、盆栽講習会への誘いを受けて、初めて参加しました。随分古い話で記憶は定かではありませんが、当支部のルーツ(?)である広島盆栽協会（椿部会）は、確か昭和39年に創立された全県組織で、会員数400名を超えるほどの盛況ぶりでした。

昭和43年2月に部会から独立して、「広島椿協会」が設立されました。広島における椿の中心組織として発展し、さらに昭和57年からは、諸般の事情で「日本ツバキ協会広島支部」となりまし

た。以来、時代とともに盛衰を繰り返しながらも、皆様のたゆまぬ努力とご活躍によって現在に至っています。

平成8年7月、前回事務局長さんの急逝により、事務引き継ぎもないまま、急きょ私が事務局を引き受けることになりました。以来15年余、皆さまのご協力により、なんとか昨年末まで務めることができましたが、同じポジションに長くとどまっていると、企画もマンネリ化し、発展性がありません。新しい発想のできる方にとお願いしましたところ、玉川・島田両氏に快く引き受けてもらえました。斬新な企画運営に感謝しております。「温故知新」。さらに本会の発展を願うものです。記憶に間違いがあるかもしれないと思いつつ記述してみました。誤っていたらお許しください。

あ、もう一つ忘れていました。耳が遠くへ行ったきり、帰ってきません。不敏です。

(終わり)

前・事務局長の部谷さまから、原稿を頂戴いたしました。奥様のご入院中との由で、お忙しい折ご無理をお願いして申し訳ありませんでした。

今回、事務の引き継ぎに際し、実に詳細に関係資料を残していただいたことに、ただただ感心しておりました。事務局を引き受けられたときには大変な御苦労があった由、そしてまた長年お世話をいただきましたことに、頭の下がる思いで拝読いたしました。

今後も毎号会員紹介をしていきたいと思えます。それぞれにツバキとの出会いがあってこそ、会に参加されておられるはず。その馴れ初めでも教えていただき、さらに、いろんなツバキの楽しみ方を伝授いただければと思っています。

これ以外にも、各会員の近況や、活動を取り上げていくつもりです。情報をお知らせください。(事務局)



シルクロード



紅葉の三景園

発行

〒732-0826 広島市南区松川町 3-1 (島田方)

日本ツバキ協会広島支部

事務局長 玉川忠義

電話 082-286-7716 FAX 082-261-7718

e-mail myoeiji@iaa.itkeeper.ne.jp